

## 軍用外来機飛来・暫定配備・訓練に抗議し、即時撤去を求める抗議決議

10月18日に米サウスカロライナ州空軍所属のF-16戦闘機10機が嘉手納飛行場に給油のため着陸したとして防衛局より連絡があった。運用保全の理由から、滞在期間等の詳細は明らかに出来ないとのことである。また、航空機騒音規制措置を踏まえ、静粛時間の飛行は、任務達成のために必要となるものに制限する方針としているが、嘉手納町屋良では、飛来した午前4時35分頃に最大で85.6デシベルの騒音が確認されたと報道されている。

普天間基地においても米海兵隊岩国基地所属のFA-18ホーネット戦闘攻撃機が飛来し、騒音が確認されており、いずれも負担軽減とは逆行している。

同日、嘉手納町基地対策協議会により行われた目視調査では、嘉手納町の道の駅かでな展望場にて、最大100.4デシベルの騒音が観測され、加えて、日米間の航空機騒音規制措置で運用が制限される午後10時を大幅に超えた飛行を行うなど、常軌を逸した米軍の横暴ぶりに激しい憤りを禁じえない。

地域住民が日常的に航空機騒音被害に悩まされ、町民生活に甚大な悪影響を及ぼしている事を日米両政府は認識し、本質的な負担軽減策を図るべきである。

よって、北谷町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

### 記

- 1 軍用外来機飛来・暫定配備・訓練を中止し、即時撤去すること。
- 2 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化をしないこと。
- 3 騒音防止協定を遵守すること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 5 すべての在沖米軍基地を整理縮小・撤去すること。

以上、決議する。

平成28年10月26日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使 米太平洋軍司令官  
在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事  
嘉手納基地第18航空団司令官

## 軍用外来機飛来・暫定配備・訓練に抗議し、即時撤去を求める意見書

10月18日に米サウスカロライナ州空軍所属のF-16戦闘機10機が嘉手納飛行場に給油のため着陸したとして防衛局より連絡があった。運用保全の理由から、滞在期間等の詳細は明らかに出来ないとのことである。また、航空機騒音規制措置を踏まえ、静粛時間の飛行は、任務達成のために必要となるものに制限する方針としているが、嘉手納町屋良では、飛来した午前4時35分頃に最大で85.6デシベルの騒音が確認されたと報道されている。

普天間基地においても米海兵隊岩国基地所属のFA-18ホーネット戦闘攻撃機が飛来し、騒音が確認されており、いずれも負担軽減とは逆行している。

同日、嘉手納町基地対策協議会により行われた目視調査では、嘉手納町の道の駅かでな展望場にて、最大100.4デシベルの騒音が観測され、加えて、日米間の航空機騒音規制措置で運用が制限される午後10時を大幅に超えた飛行を行うなど、常軌を逸した米軍の横暴ぶりに激しい憤りを禁じえない。

地域住民が日常的に航空機騒音被害に悩まされ、町民生活に甚大な悪影響を及ぼしている事を日米両政府は認識し、本質的な負担軽減策を図るべきである。

よって、北谷町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要請する。

### 記

- 1 軍用外来機飛来・暫定配備・訓練を中止し、即時撤去させること。
- 2 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化をさせないこと。
- 3 騒音防止協定を遵守させること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 5 すべての在沖米軍基地を整理縮小・撤去させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年10月26日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長